

<基本情報>

所在地：福岡県久留米市

<農場概要>

- 面積：5.3 ha（全ほ場有機栽培）
- 従業員：正社員4名、パート3名、技能実習生・特定技能実習生15名
- 栽培品目：ラディッシュ、ほうれん草、小松菜



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 慣行栽培で規模拡大を進める中、農薬を使用しても効果が出ない、病気の増加、発芽がそろわない等、収量低下に直面。
- 土壌の有機物不足、団粒構造ができていない点、生物の多様性が少ない点に気づき、関係者からの助言や書物等から土づくりの大切さを学び、2017年から有機栽培を開始。

<販売について>

- JAを通じた市場出荷や小売店等との契約。
- 加工品の製造を始めた際に展示会に出展し、仲卸会社を紹介いただいたことでスムーズに販路拡大につながった。



<経営面の工夫等について>

- 約90棟あるハウスや各ほ場の栽培から出荷までの過程を管理するため、より自社の作業体系に合うようにアプリを活用して独自のシステムを開発。
- ハウスの土壌水分管理について誰でも対応できるようにする等、作業の標準化や共有化を図る工夫を行っている。
- 2021年に有機JAS認証を取得。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

● 病害虫対策・雑草対策

窒素成分が多くなると害虫が寄ってきやすくなるため、そのコントロールを重視。毎作、自社で簡易的な土壌分析を実施し、窒素成分の確認を行い、年2回程度、分析機関でより詳しい土壌分析を実施し、施肥設計。やむを得ない場合は、有機JAS認証の規格を遵守した形で微生物農薬等を活用。4～10月頃には毎作、資材投入後、ビニールを被覆し、太陽熱を利用した高温処理を実施。

● 土づくり

ハウスでは、各品目を組み合わせ、約7作/年栽培し、油かすや堆肥を施用。露地では鶏糞を中心に施用し、各品目に加え、夏はソルゴーやヘアリーベッチ等の緑肥も栽培し、土づくりに活かす。



<苦労しているところ>

- 水害、酷暑とそれによる害虫の増加。

<今後の展開>

- 地域の資源を利用した自家製の植物性堆肥の製造にも取り組みたい。将来的には加工品の有機JAS認証も取得予定。

